

# 「実験データ解析概論」2014年度第2回レポート

## 課題

問題1. 多変量データを解析する場合, いかにして高次元空間を「要約」し, その変動を「視覚化」するかが重要であるが, その理由はなぜかを説明せよ. さらに, 多変量解析の手法をひとつ挙げ, その手法が多変量データの要約と視覚化をどのような方針で実行しているかを述べよ.

問題2. 統計モデルの判定基準である尤度とAICはそれぞれどのような特徴をもっているか? それらのモデル選択基準は推論様式としてのアブダクションとどのような関係にあるかを述べよ.

---

※レポートの提出方法と締切は下記の通り:

【締切日】2014年8月8日(金) 23:59:59.

【提出先】三中信宏まで電子メール ([minaka@affrc.go.jp](mailto:minaka@affrc.go.jp)) で提出すること.

【留意点】レポートは, 氏名と学籍番号を明記し, メール本文にプレーンテキストで書いて送信すること. 一切の添付ファイルは御法度である. また, 正常に受信された場合にかぎり受領メールを返信する. 受領メールが届かなかった場合はレポート不着の可能性があるので注意されたい.